「集中治療室における治療の質改善」を目的とした観察研究に関するお知らせとお願い

研究機関　横浜労災病院
病院長　　三上　容司

研究の名称：
「敗血症に対する抗菌薬早期投与の推奨は広域抗菌薬の濫用につながるか」
の単施設後ろ向きコホート研究

研究の目的、方法：

感染症は誰にでも発症し得るありふれた疾患です。集中治療室の患者さんも例外ではなく、その半数以上に何らかの感染症がみられ、70%近い患者さんに抗菌薬が使用されているという報告もあります。今日、抗菌薬が効きづらい薬剤耐性菌の蔓延が世界的な問題となる中、感染症に対する適切な抗菌薬の使用の重要性が高まっています。そこで、集中治療室において感染症を疑われた患者さんを対象として、抗菌薬の使用が患者さんの治療に役立っているかを調べるための研究を行います。

今回は 2019 年 9 月から 2022 年 9 月までの間に、当院集中治療室に入室した患者さんを対象として、カルテに記載されている診療情報などを参照した後ろ向き観察研究を行いたいと思います。研究調査期間は 2023 年 4 月から 2025 年 3 月 31 日までです。本研究の成果は、抗菌薬適正使用などの医療の質改善によって、社会へ還元していきたいと考えます。なお、本研究は倫理審査委員会により承認されており、開示すべき利益相反はありませんが、当機構の病院機能向上研究に指定され研究費が配賦されております。

研究に用いる試料、情報の種類：

患者さんのカルテなどに記載されている診療情報

外部への資料、情報の提供：

情報は匿名化し、個人が特定されない状態で研究責任者によって管理、保存され、適切な時期に破棄されます。また、本研究を通して知りえた情報は、研究および診療の質向上の目的以外に使用する事は一切ありません。

研究への情報提供をご希望されない場合：

ご質問がある方や研究への情報提供をご希望されない方は、下記問い合わせ先までご連絡下さい。なお、情報提供をご希望されないことによる不利益は一切ありません。

本研究機関の研究責任者・個人情報取り扱い責任者・問い合わせ先：

中央集中治療部　副部長　医師　七尾大観　　病院代表電話番号 045-474-8111